モラル・ハラスメントを許すな！⑥

モラル・ハラスメント被害者同盟

～モラル・ハラスメント被害者同盟というサイトに集う、被害者の手記をご紹介しますシリーズです～

今日はモラハラ被害者のお一人、ペリんださんより「メキシカンマッチョと結婚・モラハラ生活・別居までの生活」についてお話を伺います。モラハラについて、もっと詳しくお調べになられたい方、モラハラ同盟サイト管理人@fixさんにお便りを送られたい方は、是非、下記アドレスまで訪問してみてください。(パピリオン編集部)

モラル・ハラスメント被害者同盟

<http://www.geocities.jp/moraharadoumei/>

私はメキシコ旅行中に彼と出会い、一度日本に帰国、数カ月間の遠距離恋愛ののち、メキシコ人の彼と結婚。18年の結婚生活の中、二人の子供を授かりました。そして現在、私は夫との別居を勝ち取り、2ヶ月が経っています。

別居のきっかけは、夫の精神的暴力(モラ)が身体的暴力(バタ)に変化したからです。いつもの暴言から経済制裁を経て、最後に夫から首を絞められました。「お前みたいなやつは、消してやる」と言われ、命からがら、筋肉隆々の夫の手から逃げ延びました。私は、夫から殺されそうになったというスキャンダルを、住んでいた官舎中にバラまいてやりました。夫は「出世に影響する、マズい」と思ったようで、私を体よく追い出す作戦に出ました。これで別居成立です！

別居のために荷物を整理していると、辛かった頃の日記がでてきました。「死にたい」という言葉の連続で、とても読み返せませんでした。「何であんな男と結婚してしまったんだろう」「あんな男を選んだのは自分の責任、我慢しなければ」「親にも黙って結婚してしまったのだから、絶対に弱音は吐けない」日記を書いた当時の揺れ動く気持ちが甦ってきて、私は誰もいない家の中で声をあげて泣いていました。

思い起こせば外国人である夫の言動が、文化の違いだけではなく、人として何か欠けたところがあるのでは？と疑問を抱いたのは結婚してすぐのことでした。夫の仕事は時間が不規則でしたから、帰宅時間の予測がつかず、私が買い物に出た間に、夫が帰宅していた日がありました。その時夫は「どこを出歩いてたんだ？男を探しに行ってたんだろう。えっ、どこのモーターにしげこんでいたんだ？いくらもらったんだ？」「おまえには、もう生活費はやらないからな、体を売って稼いでいるんだろうから、客に養ってもらえばいいだろう」。返事すらできない私に、夫は「黙っているんだったら、本当なんだな、お前みたいなやつは、とっとと出て行け」と怒鳴り、本当に家を追い出されました。

出て行けと言われても、親戚も知り合いも友達もないメキシコで、おまけにバスに乗るほどのお金も持たされていなかった私は、家のすぐ前にあった大きなゴムの木の影に隠

れました。30分ほどして家に戻ると、家中の鍵が全部かけられていて家に入れません。仕方なく知り合ったばかりの近所の人の家に一晚泊してもらい、次の日、恐る恐る、家に帰ると、鍵は閉まっていませんでした。家に入るとすぐ夫の上司の妻が来て「だんなさんが、妻が昨日の夜、帰ってこなかったと言ってすごく心配していたわよ」と言いました……。自分で鍵をかけて、私を閉め出しておいて、一体何を？あの男はおかしいと、その時思ったのです。

その後も、夫の常軌を逸した嫉妬は続きました。「お前を愛しているから嫉妬するんだ」という言葉を信じようと思っても、後から後から疑問が沸き上がってきました。そして、嫉妬で怒り狂った後は、必ず、追い出しという行動にでる。私が家を出ても出なくても、怒りは止まらない。家を出て帰ってくると、「男のところに行ってたんだろう」、出ないで残ると「お前のために、うちのドアはいつでも開いているんだ。俺に文句があるなら、早く出て行け」。私は、どうしていいのかわからず、ただ泣くだけの毎日でした。

夫は仕事の関係で、寮生活をすることもあり、土曜の午後に帰宅、日曜の午後に寮へ戻ります。子供が生まれても、週に一度しか会えない。なのに、夫は子供を可愛がるどころか、少しでも泣くと「うるさい、せっかく家に帰っても、ゆっくり眠れない」と言い続け、生後2ヶ月の泣き止まない子供を抱え上げて、床に叩き付けるそぶりさえしました。ギリギリのところまで床を避け、ベッドの上に放り出したので命は助かりましたが、私はその時、何もできずに震えていただけでした。

泣くばかり、怯えるばかりだった私が変わったのは、去年の5月にモラル・ハラスメントというサイトに偶然出会ってからです。今までの疑問がすべて解けたのです。どうして夫は自分のついた嘘を真実と思うのか？夫は、モラ夫(自己愛的な変質者)だったからです。私は戦う決意をしました。なぜなら、モラ夫は治る見込みが少ないからです。いつか私の努力が実り、夫は変わってくれる、そんな願いが音をたてて崩れ去りました。私は、夫に苛められ続けて一生を終わりたくない。

その後、@fixさんのすすめで、国際掲示板の管理人をさせて頂くことになりました。以来、いかに世界中に夫と同じような人間が多いか、モラハラに苦しめられている女性達が多いか、モラは世界中どこへいっても変わらないのかと、つくづく実感する毎日です。夫が外国人・外国在住で、誰にも相談できずに困っておられる方々はぜひ、国際掲示板(<http://www1.rocketbbs.com/614/world.html>)を訪ねてください。(ペリんだ)

次号は、職場でモラハラ被害にあった方の体験談です。